



第2回公開シンポジウム

「ケア・イノベーションの最前動向」

少子高齢化が進む日本では、これまでの仕組みだけでは対応しきれない複雑な課題が増えています。

私たちが提案する「ケアサイエンス」は、医療や福祉だけでなく、建築や教育など、さまざまな分野の人と力を合わせて、よりよい「ケアのあり方」と、それを支える社会のしくみを考えていく新しい取り組みです。

ケアがもっと身近に、自然に支え合える社会——私たちはそんな社会を「ケア共同社会」と呼び、その実現を目指しています。

このシンポジウムは3回シリーズの第2回です。今回は以下の3つのテーマを中心に、現場で活躍する方々のお話と、参加者同士の対話を通して考えを深めていきます。

- ・セルフケアと地域のつながり
- ・ケアの担い手を育てるために必要なこと
- ・ケアを支える「空間」や「場所」について

前回の内容も振り返りながら、「ケアサイエンス」を社会にどう広げていくか、一緒に考えていきましょう。

**ケアをする人も、される人も、
安心して暮らせる社会をつくる第一歩
ぜひ、ご参加ください！**

日時

令和7年6月22日 (日曜日)

13:00～16:00



オンライン開催 (定員：1,000名)

↓ 参加費無料・一般参加可・要事前申込 ↓



https://supportoffice-jp.zoom.us/webinar/register/WN_CotcihIESCygnU7tVca2XQ#/registration

問合せ先

東京大学先端科学技術研究センター
(熊谷研究室)

E-mail:info@touken.org

13:00～13:25

開会・挨拶・冒頭

臼井 恵美子

司会

山田 あすか

副司会

(日本学術会議第一部会員／一橋大学経済研究所教授)

(日本学術会議連携会員／東京電機大学未来科学部建築学科教授)

磯 博康

挨拶

(日本学術会議副会長／国立健康危機管理研究機構国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター (iGHP) センター長・理事長特任補佐)

熊谷 晋一郎

冒頭：「連続シンポジウムの構成と第1回シンポジウムの振り返り」・「参加型研究」

(日本学術会議第二部会員／東京大学先端科学技術研究センター当事者研究分野教授)

13:25～13:55

第一部：セルフケア・コミュニティの構築

荒井 秀典

「セルフケアの社会実装によるコミュニティの形成」フレイルと介護予防を例に

(日本学術会議第二部会員／国立研究開発法人国立長寿医療研究センター理事長)

山川 みやえ

「Society 5.0とケア」

(日本学術会議連携会員／大阪大学大学院医学系研究科統合保健看護科学分野老年看護学准教授)

13:55～14:25

第二部：ケアリテラシー概念とケアする人の育成

コスタンティーニ ヒロコ

「ケアリテラシー」

(東京大学大学院農学生命科学研究科准教授)

川口 有美子

「ケアする人を育てる」

(NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会副理事長)

14:40～15:10

第三部：ケアリング・アーキテクチャの構築 (ケア文化の醸成とケアの地域化)

五十嵐 歩

「地域介入研究」

(千葉大学大学院看護学研究院先端実践看護学研究部門高齢社会実践看護学講座教授)

柴田 智広

「ケアする生活環境をつくるアプローチ」

(九州工業大学大学院生命体工学研究科人間知能システム工学専攻教授)

15:10～15:50

議論

山田 あすか

司会

(日本学術会議連携会員／東京電機大学未来科学部建築学科教授)

15:50～16:00

まとめ

西村 ユミ

(日本学術会議第二部会員／東京都立大学健康福祉学部・大学院人間健康科学研究科教授)

主催：日本学術会議健康・生活科学委員会・臨床医学委員会合同共生社会に向けたケアサイエンス分科会、臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同老化分科会、健康・生活科学委員会高齢者の健康・生活分科会、健康・生活科学委員会ヘルスケア人材共創に向けた看護学分科会

共催：一般社団法人日本看護系学会協議会

後援：公益社団法人日本看護科学学会、一般社団法人日本建築学会、障害学会、人間・環境学会、一般社団法人日本医療・病院管理学会、一般社団法人日本サイコオンコロジー学会、日本老年学会、一般社団法人日本社会福祉学会、一般社団法人日本癌治療学会、一般社団法人日本がんサポーターズ学会、公益社団法人こども環境学会、認定特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML、当事者研究ネットワーク、特定非営利活動法人DPⅠ日本会議、非営利活動法人ALS/MNDサポートセンターさくら会